

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第49週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-8

< インフルエンザ > 第49週における定点当たり報告数は0.15で、まだ全国的な流行の開始には至っていない
< 感染性胃腸炎 > 第49週の定点当たり報告数は22.2となり、第48週の値(21.8)を更に上回ったが、増加の速度は緩やかとなっている



病原体情報
P.9-12

感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン / インフルエンザウイルス 2006/07シーズン



速報
P.13

ノロウイルスによる集団胃腸炎事例 - 長崎市



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.14

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(49週)
P.15-21



49週のデータ
P.22-33



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第49週コメント > 12月13日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

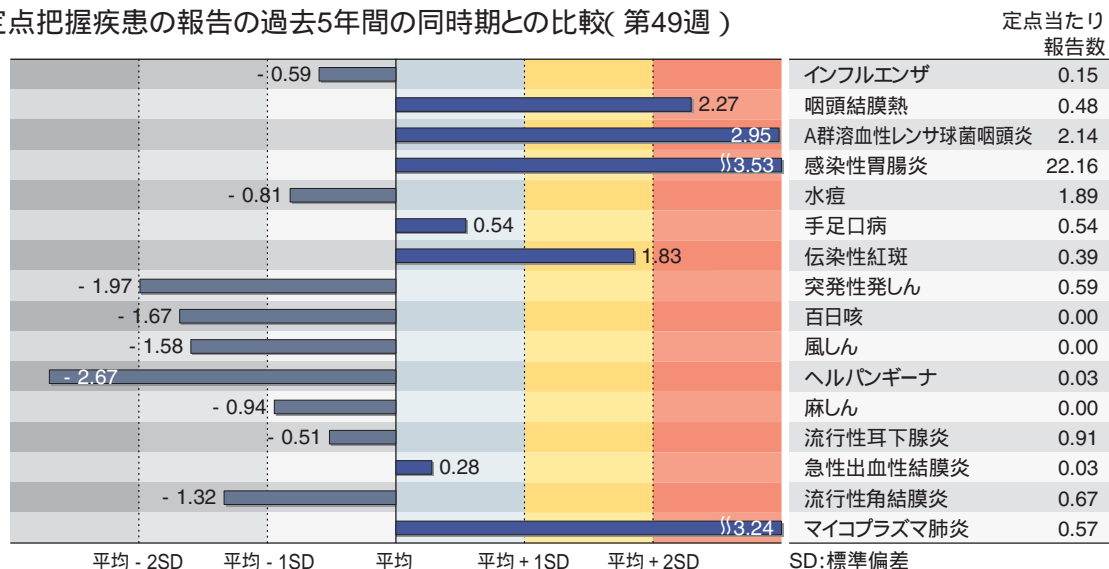
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 3例(感染地域: ベトナム1例、カンボジア1例、ケニア1例)
腸チフス 2例(感染地域: インド1例、インドネシア1例*)
パラチフス 1例(感染地域: インドネシア*)
*腸チフスとパラチフスの重複感染
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 39例(うち有症者19例、HUS 1例)
感染地域: すべて国内
国内の多い感染地: 広島県13例、大阪府5例
年齢群: 10歳未満(15例)、10代(1例)、20代(9例)、30代(8例)、40代(2例)、50代(1例)、60代(2例)、70歳以上(1例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(20例)、O157 VT2(8例)、O26 VT1(6例)、O157 VT1(2例)、O111 VT1(1例)、その他/不明(2例)
- 4類感染症: オウム病 1例(感染源: 不明、感染地域: タイ)
つつが虫病 20例
(感染地域: 鹿児島県6例、千葉県2例、岐阜県2例、長崎県2例、青森県1例、福島県1例、神奈川県1例、愛知県1例、三重県1例、高知県1例、熊本県1例、大分県1例)
レジオネラ症 7例(すべて肺炎型)
年齢群: 50代3例、60代2例、80代1例、90代1例
感染地域: 群馬県1例、東京都1例、新潟県1例、長野県1例、静岡県1例、岡山県1例、鹿児島県1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 8例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症2例)
感染地域: すべて国内
感染経路: 経口1例、性的接触(異性間・同性間不明)2例、不明5例
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(とともに孤発性プリオン病古典型)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例
血清群: A群2例、B群1例
年齢群: 60代1例、70代1例、80代1例
後天性免疫不全症候群 10例(無症候8例、AIDS 1例、その他1例)
感染地域: 国内9例、国外(国不明)1例
感染経路: 性的接触9例(異性間2例、同性間7例)、不明1例
梅毒 10例(早期顕症I期4例、早期顕症II期3例、無症候3例)
破傷風 2例(60代、70代)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
(遺伝子型: VanA__菌検出検体: 便)

(補)他に報告遅れとして、E型肝炎1例(感染地域: 国内(都道府県不明)、感染源: 不明)、急性脳炎3例(ライノウイルス1例(4歳)、病原体不明2例(0歳、1歳))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(血清群: とともにA群、年齢: 1歳、30代)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(20代、感染地域: 国内、死亡)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第49週)



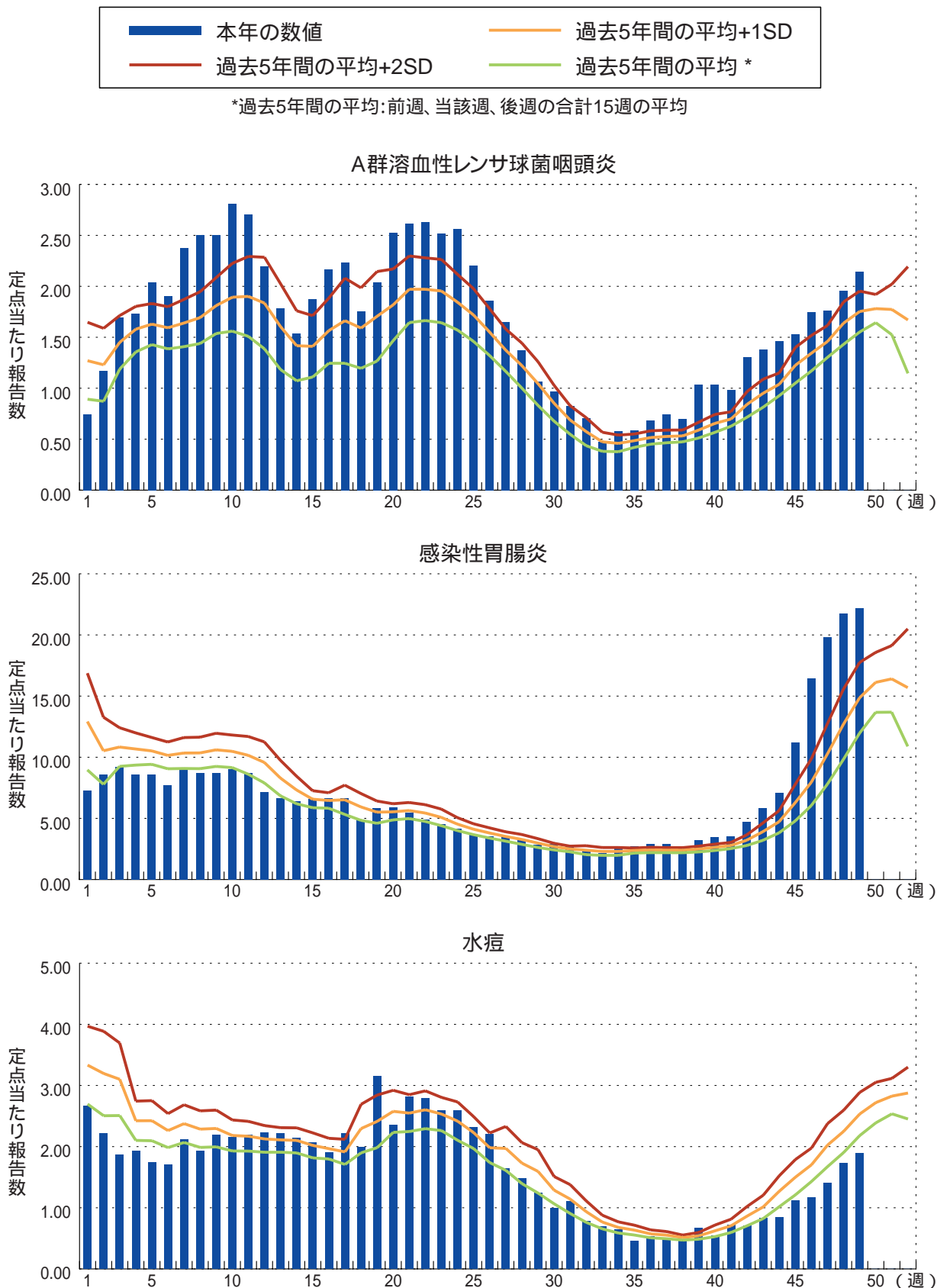
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は第43週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県(3.27)、大分県(0.86)、岐阜県(0.72)、広島県(0.72)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は1,887例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(2.0)、山形県(1.7)、富山県(1.5)、秋田県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(4.4)、新潟県(4.4)、鳥取県(3.7)、大分県(3.6)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第39週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では福井県(41.4)、愛媛県(37.2)、埼玉県(31.4)、富山県(31.1)、宮城県(28.9)、山口県(28.8)が多い。水痘の定点当たり報告数は第43週より増加が続いている。都道府県別では福井県(4.1)、宮崎県(3.8)、大分県(3.5)、宮城県(3.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では山形県(3.4)、大分県(2.8)、島根県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県(1.10)、富山県(0.90)、埼玉県(0.81)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では北海道、群馬県、神奈川県、新潟県、滋賀県、奈良県、高知県、宮崎県から各1例の報告であった。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では、兵庫県から1例のみの報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では島根県(0.22)、岩手県(0.21)、宮城県(0.21)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では、茨城県から2例、神奈川県、山梨県、静岡県、愛知県から各1例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.4)、青森県(2.4)、長野県(2.4)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(3.1)、群馬県(2.6)、大阪府(1.7)、愛媛県(1.7)が多い。成人麻しんは、埼玉県から1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1 ~ 49週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする呼吸器感染症である。現在、ヒトの間では2種類のA型ウイルス(H1N1; Aソ連型、H3N2; A香港型)とB型ウイルスの計3種類が世界中で流行を繰り返している。日本では毎年12月末 ~ 1月初旬に流行が始まり、その後急激に発生が増加し、1月最終週 ~ 2月第1週に流行のピークを迎えることが多い。国内の患者発生数は推定で、2004/05シーズンに約1,770万人(IASR, Vol. 26, No. 11, p287-288, 2005)、2005/06シーズンに約1,116万人(IASR, Vol. 27, No. 11, p293-294, 2006)とされている。

インフルエンザ予防の基本はワクチン接種である。わが国では65歳以上の高齢者、および60 ~ 64歳で基礎疾患のある者に対して、接種費用の一部公費負担による接種勧奨が行われている。今シーズンのインフルエンザワクチンには、A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)、A/広島/52/2005(H3N2)、B/マレーシア/2506/2004の3種類のウイルス株が含まれている(IASR, Vol. 27, No. 10, p267-268, 2006)。インフルエンザの流行時期を考えると、ワクチン接種は12月中に済ませておくことが勧められる。

感染症発生動向調査によると、第49週における定点当たり報告数は0.15(報告数657)で、まだ全国的な流行の開始には至っていない(図1)。都道府県別では宮崎県(3.27)、大分県(0.86)、岐阜県(0.72)、広島県(0.72)、沖縄県(0.64)、福井県(0.41)の順となっている。宮崎県では、管内に2週連続で注意報レベルを超えている保健所がみられ、既に地域的な流行が始まっているものと思われる。

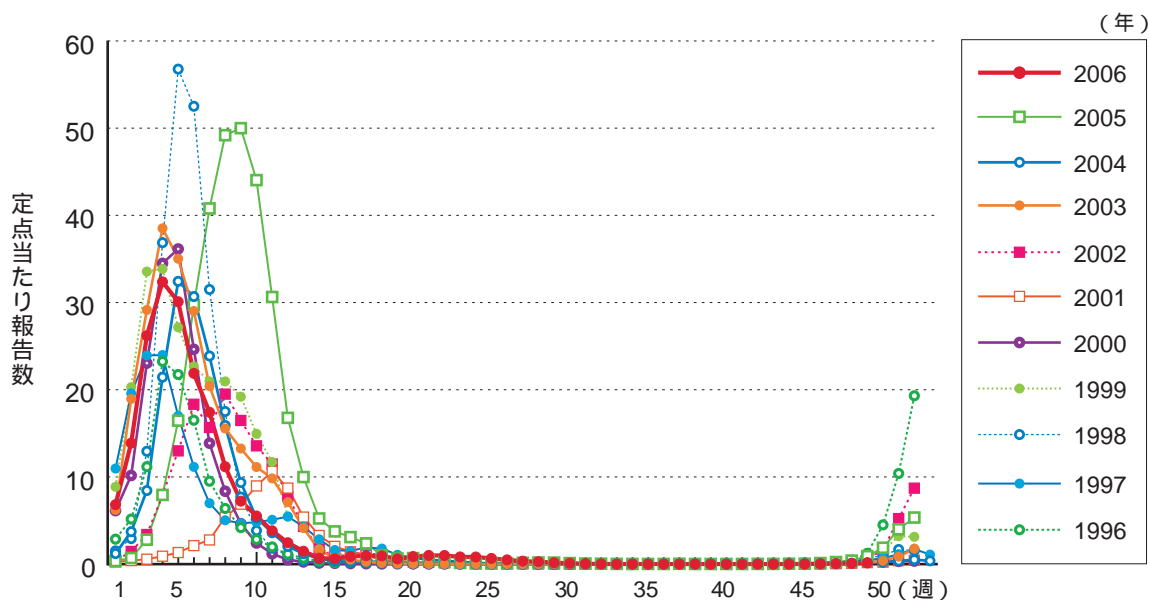


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1996年 ~ 2006年第49週)

第36週以降これまでに、インフルエンザウイルスの分離は広島県、山梨県、滋賀県、岡山県、大阪府、兵庫県等の全国の衛生研究所から報告されており、B型18件(56.3%)、AH1(Aソ連)型12件(37.5%)、AH3(A香港)型2件(6.3%)の順となっている(図2)。

今シーズンのインフルエンザの報告は今までのところ、例年と比べて早く増加しているとは言えないが、全国的な流行の時期は近付いているものと考えられる。今後とも、インフルエンザの発生動向には注意が必要である。

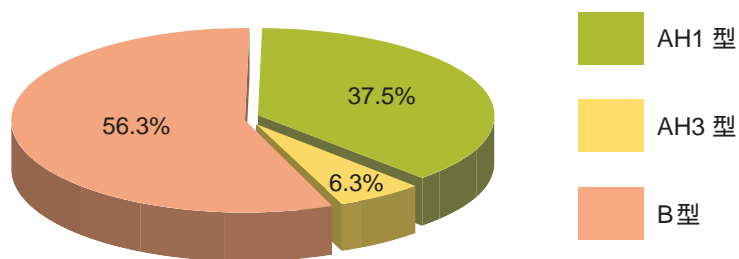


図2. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況(2006年第36 ~ 49週)

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様の病原体による疾患を包含する症候群であり、全国約3,000カ所の小児科定点から毎週報告がなされている。発生が増加するのは主に冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが原因であると推測されている(IASR, Vol. 24. No. 12. p321-322)。例年、感染症発生動向調査による報告のピークは12月中旬以降となることが多く(図1)、その時期の報告、特に集団発生例の多くはノロウイルスによるものと推測される(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-kj.html>)。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間 ~ 数日(平均1 ~ 2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間 ~ 数日(平均1 ~ 2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くない。治療では特効薬はなく、対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

これまでノロウイルスの感染経路としては、食中毒としての経口感染がよく知られていたが、患者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト - ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。実際に、乳幼児、児童、高齢者の集団生活施設や病院で、ヒト - ヒト感染によると思われる集団感染や院内感染がしばしば報告されている。ヒト - ヒト感染であっても、飲み込まれたウイルスがヒトの腸管に達して感染が成立する。従って、ヒト - ヒト感染の予防法として重要なことは流水・石鹸による手洗いの徹底であり、また嘔吐物・下痢便の適切な処理と消毒である(「ノロウイルス感染症とその対応・予防」<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/index.html>)。

2006年第49週の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は22.2(報告数66,871)となり、第48週の値(21.8)を更に上回ったが、増加の速度は緩やかとなっている(図1)。都道府県別では福井県(41.4)、愛媛県(37.2)、埼玉県(31.4)、富山県(31.1)、宮城県(28.9)、山口県(28.8)、鳥取県(28.7)、千葉県(28.3)、神奈川県(28.2)、石川県(27.9)が多い(図2)。地域的には当初西日本が中心であったが、その後全国的な流行となり、現在では関東地域を中心とした東日本の流行が大きくなりつつある。

これまでの感染性胃腸炎の発生動向をみると、流行のピークにさしかかっているものと予想されるが、今後ともその発生動向には注意が必要である。

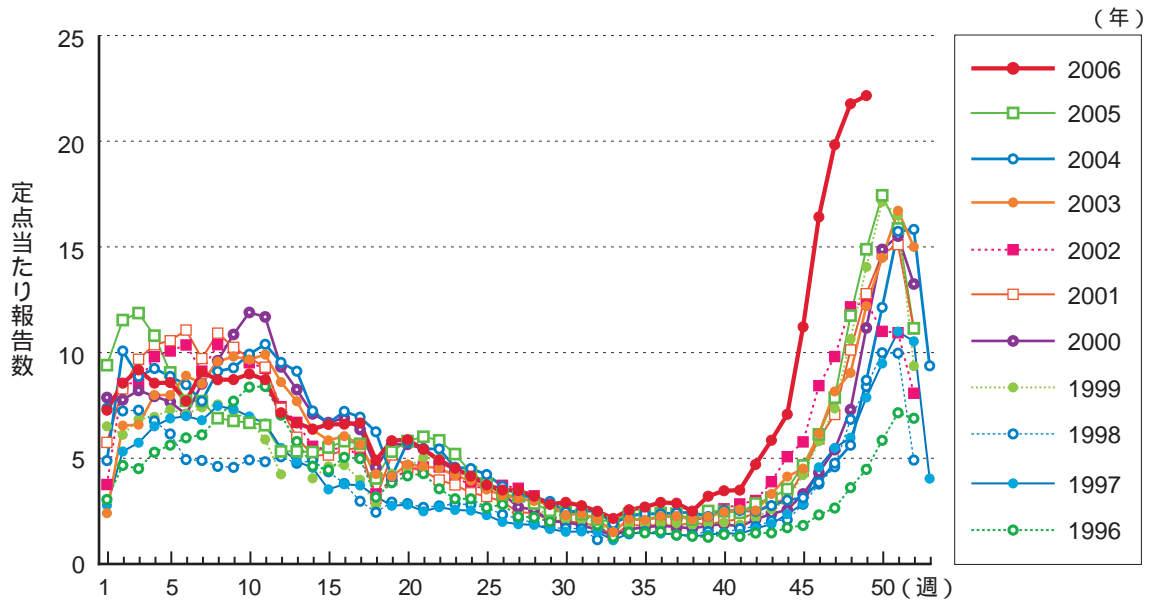


図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況(1996年 ~ 2006年第49週)

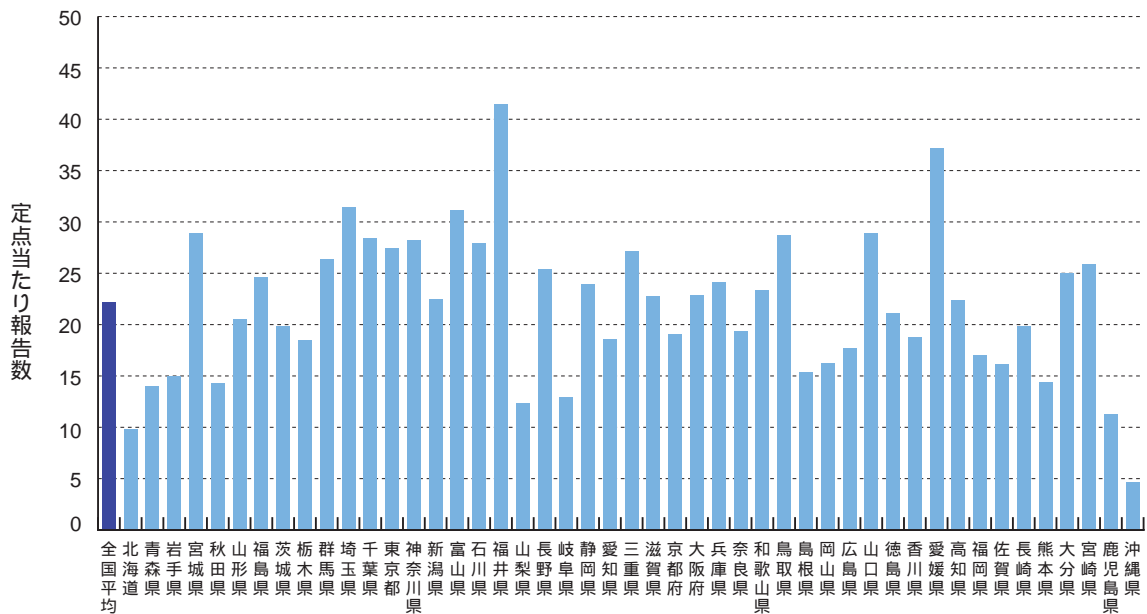


図2. 感染性胃腸炎の都道府県別報告状況(2006年第49週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

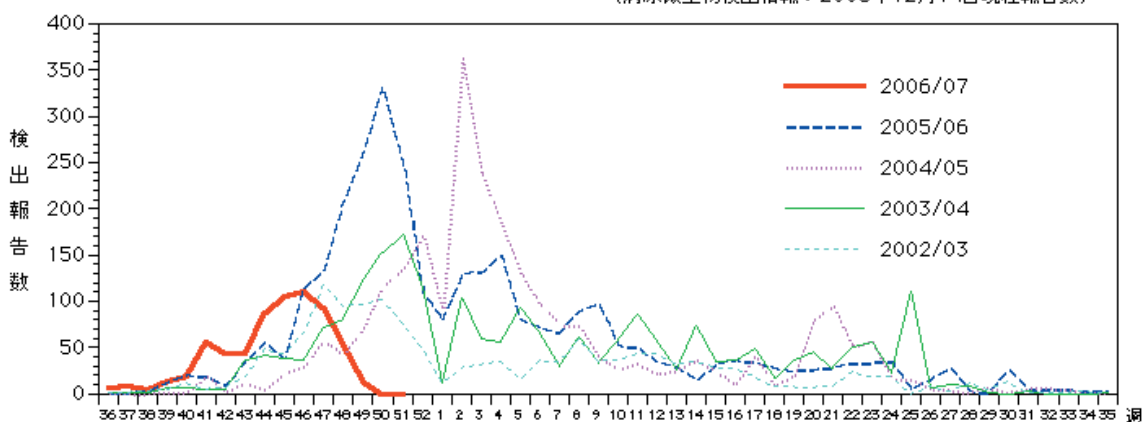
(2006年12月14日現在報告分)

感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

例年に比べ立ち上がり早く、ノロウイルスgenogroup IIが増加している。genogroup IIは大阪府、滋賀県、秋田県、愛媛県、高知県、福岡県、静岡県、広島県、山形県など23府県から計623件が報告され、genogroup Iは千葉県、神奈川県、島根県、広島県から計4件、サポウイルスは熊本県、高知県から計6件、A群ロタウイルスは東京都、京都府、静岡県から計9件報告されている。

また、genogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告が増加しており、本号13ページ「速報」参照) 9～11月に54事例が報告されている(1事例ではgenogroup IとIIを検出)。このうち、ノロウイルスの遺伝子型別まで実施された14事例はすべてGII/4と報告されている(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス)検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報: 2006年12月14日現在報告数)

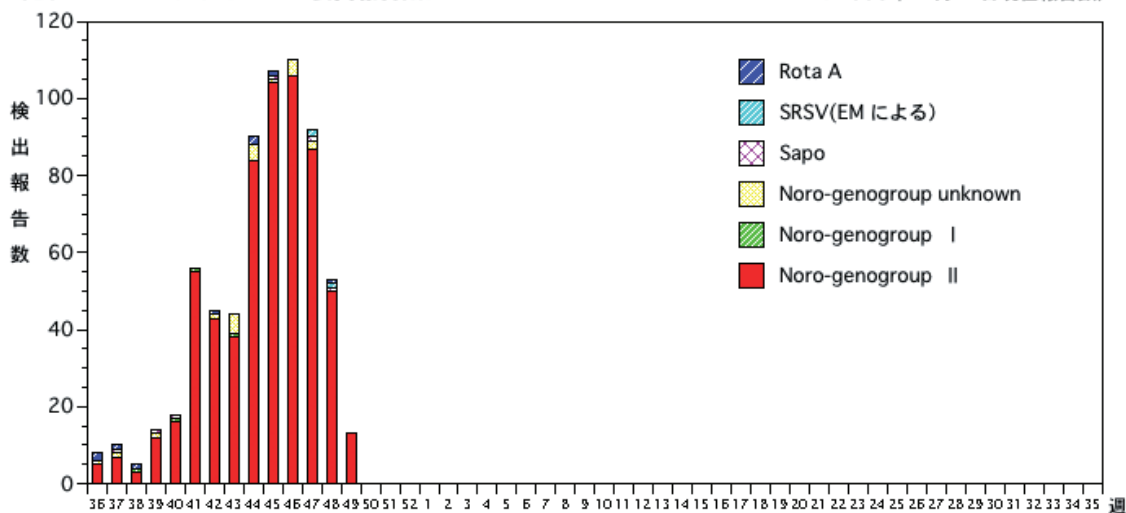


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV&ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン (病原微生物検出情報：2006年12月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

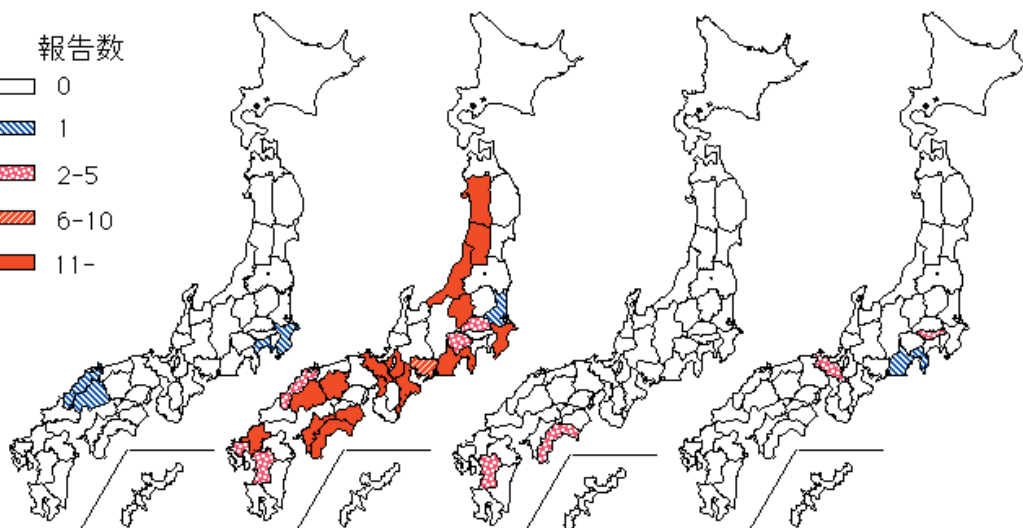


Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2006年12月14日現在報告数)

- 報告数
- 0
 - 1
 - 2-5
 - 6-10
 - 11-



Noro G I (4 例) Noro G II (623 例) Sapo (6 例) Rota A (9 例)

各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

AH1亜型13件、AH3亜型2件、B型18件が報告されている。

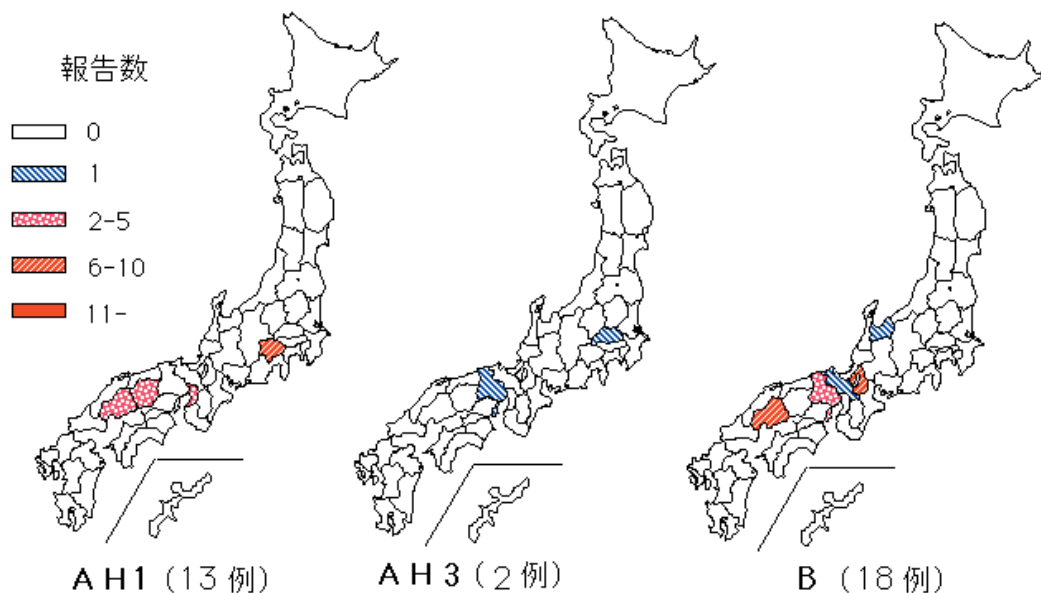
AH1亜型は第39週に大阪府で香港から帰国した母親から感染した小児から2件、岡山県で中国から帰国した父親から感染した小児などから3件、計5件(分離4件、PCR検出1件)が報告された後、第45週に広島県で1件、第46週に山梨県で家族内発生例から4件、第47週に山梨県で2件、第49週に広島県で1件の分離が報告されている。

AH3亜型は第37週に兵庫県でフィリピンから帰国した成人から1件PCRで検出され、第42週に埼玉県で幼稚園集団発生例から1件の分離が報告されている。

B型は第36週に富山県でタイから帰国した小児から1件、第38週に滋賀県で1件と広島県の地域小流行から2件分離された後、第43週に京都府で1件、第44週に広島県で1件、第45週に滋賀県の小学校集団発生例から5件、第46～48週に再び広島県の地域流行から5件、第49週に兵庫県で家族内発生例から2件が分離されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2006年12月14日現在報告数)



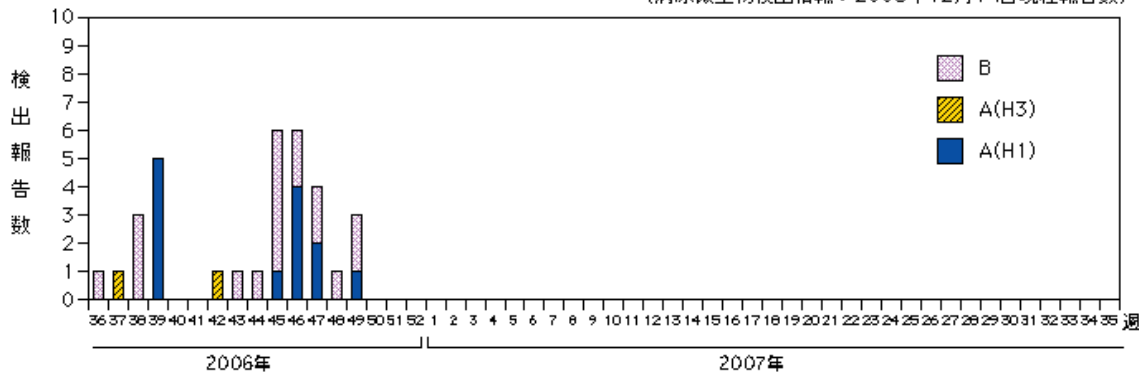
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2006年12月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



ノロウイルスによる集団胃腸炎事例 - 長崎市

2006年9月~10月にかけて、長崎市内において3件のノロウイルスgenogroup(G)IIの集団事例が発生したので、その概要を報告する。

事例1: 9月25日、長崎市内の医療機関から長崎市保健所に、9月14日から下痢、嘔気、嘔吐を主徴とする入院患者や職員らが続発しており、ノロウイルスによる院内感染が発生している疑いがあるとの届出があった。調査の結果、9月14日~25日にかけて発症しており、年齢層は1~37歳、入院患者10名、患者の家族3名、医師を含む医療従事者10名の計23名に及び、発症者15名の検便の結果、10名からリアルタイムPCR法でノロウイルスGIIが検出された。発症者の行動調査から、嘔気を主症状として14日と21日に入院した各々の患者を発端として、同室の患者らに感染したと推定された。同病院では、本発生が院内感染による可能性を疑い、21日から発症した患者らを同室に集めるなどの対策を実施していた。

事例2: 10月5日、長崎市内の医療機関から長崎市保健所に、福祉施設の入所者数名が食中毒様症状を呈しているとの届出があった。調査の結果、4日~7日にかけて嘔吐、下痢を主徴として、入所者19名が発症した。患者(入所者)12名、調理従事者5名と検食者1名の計18名の検便の結果、入所者12名全員と調理従事者1名からリアルタイムPCR法でノロウイルスGIIが検出された。ノロウイルスが検出された調理従事者は、3日から下痢等の症状を呈していたが、3日の昼食と夕食、4日の昼食の調理・盛り付けを行っていた。その後、入所者が5日をピークに発症し、その流行曲線から食品による単一曝露が疑われた。また、当調理従事者以外に症状を呈した職員がおらず、患者の発生が、部屋やグループなどの接触行動と特異的な関係が認められなかったことから、当調理従事者が調理・配膳した食事を中心に、39件の検食・施設ふきどりの検査を行ったが、ノロウイルスは検出されず、原因および汚染経路の特定には至らなかった。

本事件では、入所者に高齢者が多く、嘔吐の症状を呈する者が多かったことから二次感染が認められたものの、探知が早く施設内での発生であったため、消毒等の措置が迅速にとれたことから7日の発症を最後に終息した。

事例3: 10月14日、長崎市内で10月7日に行われた結婚披露宴の出席者で、食中毒様症状を呈した者が複数名みられる旨の連絡が長崎市保健所に入った。調査の結果、75名の出席者中、30名が嘔吐、下痢、腹痛等の症状を呈していたことが判明した。出席者14名の検便の結果、8名からリアルタイムPCR法でノロウイルスGIIが検出された。患者らは6~62歳、7日~11日にかけて9日をピークに発症しており、ノロウイルスが検出された患者の接点が当披露宴のみであり、披露宴の食事による曝露が疑われたが、食品残品は無く、調理・製造従事者14名および施設ふきどり17検体からはノロウイルスは検出されなかった。

当発生については、披露宴での曝露が原因と疑われたが、届出が発生から1週間経過し、十分な調査ができなかったこともあり、原因推定が困難な事例となった。

長崎市において例年より早い時期に発生が続いており、このような流行初期における集団発生は、感染の流行を拡大化させる要因になると思われ、今後の発生増加が予測される。流行期をむかえるにあたり、ノロウイルスの特徴を十分に理解し、的確な発生防止対策の徹底を啓発し、まん延防止対策を迅速に行うことが重要と思われた。

長崎市保健環境試験所細菌血清検査係

海部春樹 飯田國洋 植木信介 江原裕子 島崎裕子

(IASR 2007年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



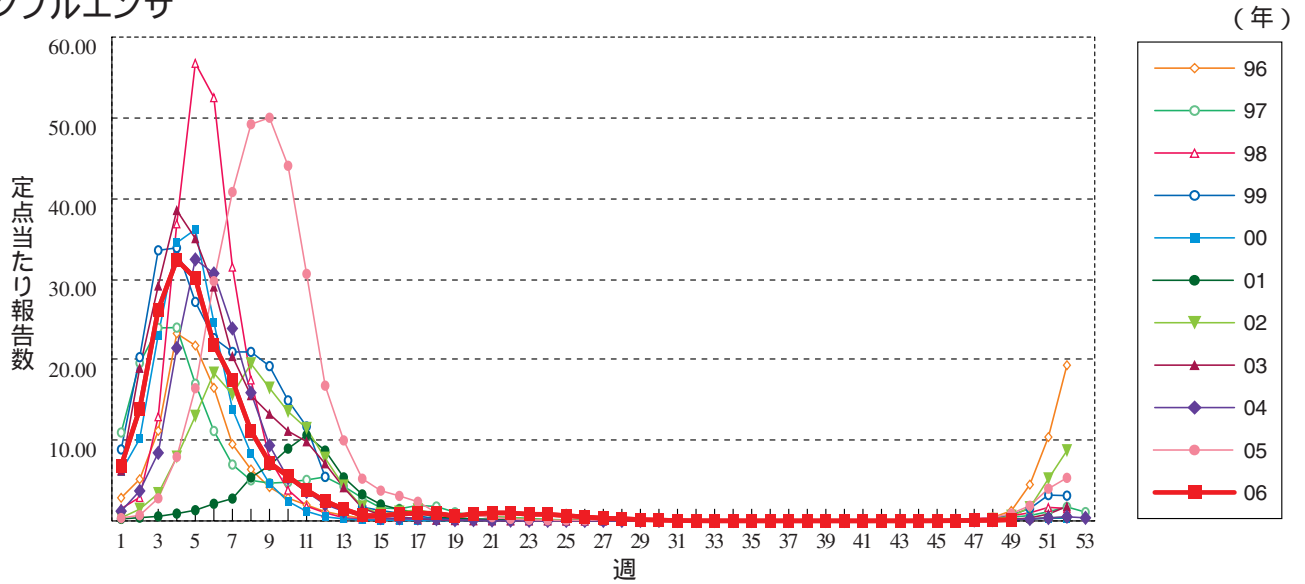
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

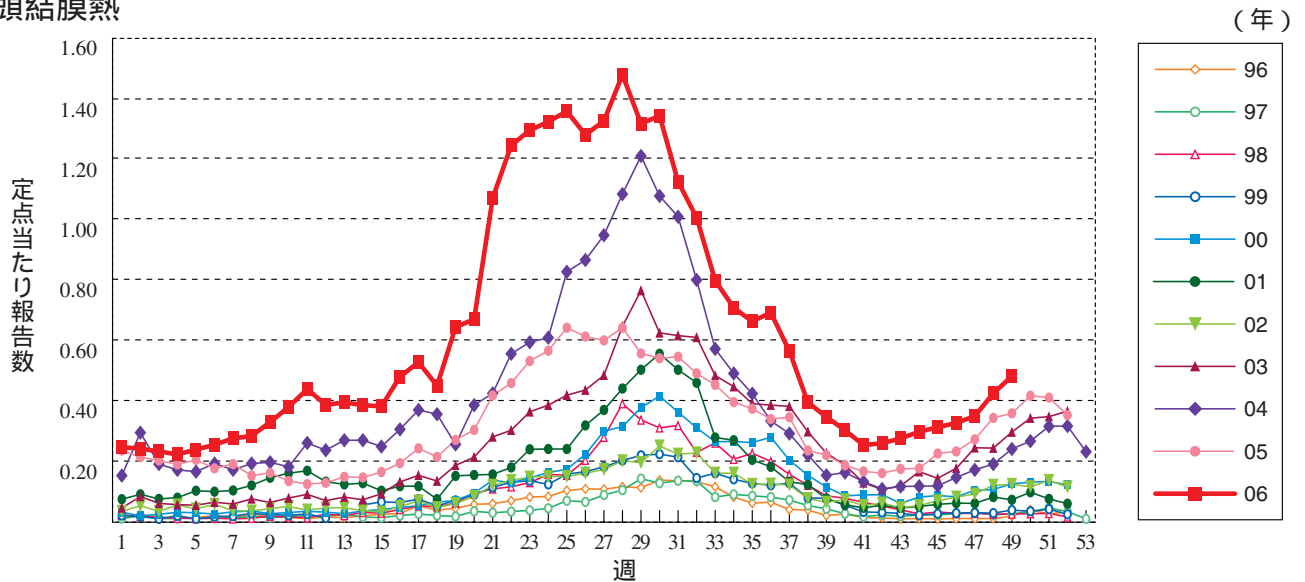


グラフ総覧(49週)

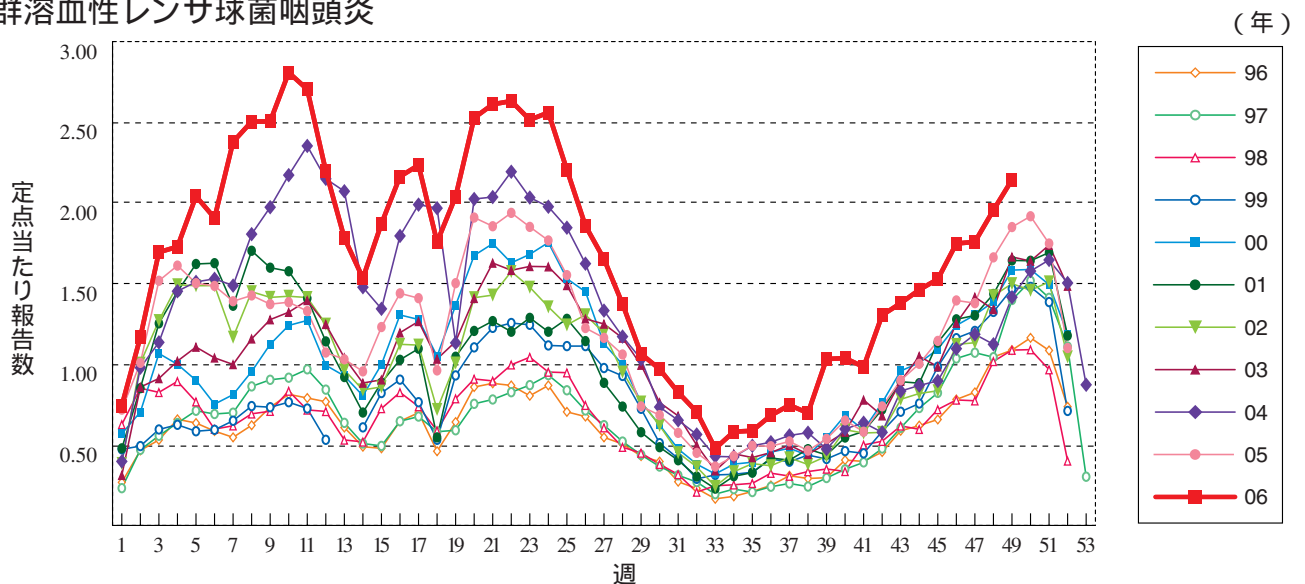
インフルエンザ



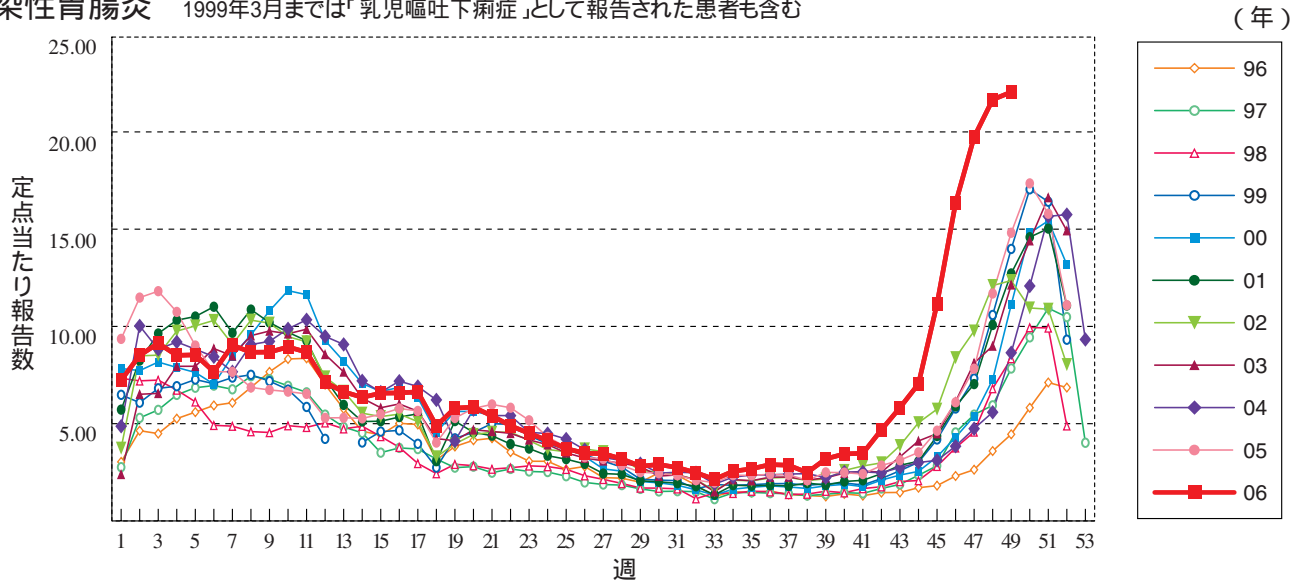
咽頭結膜熱



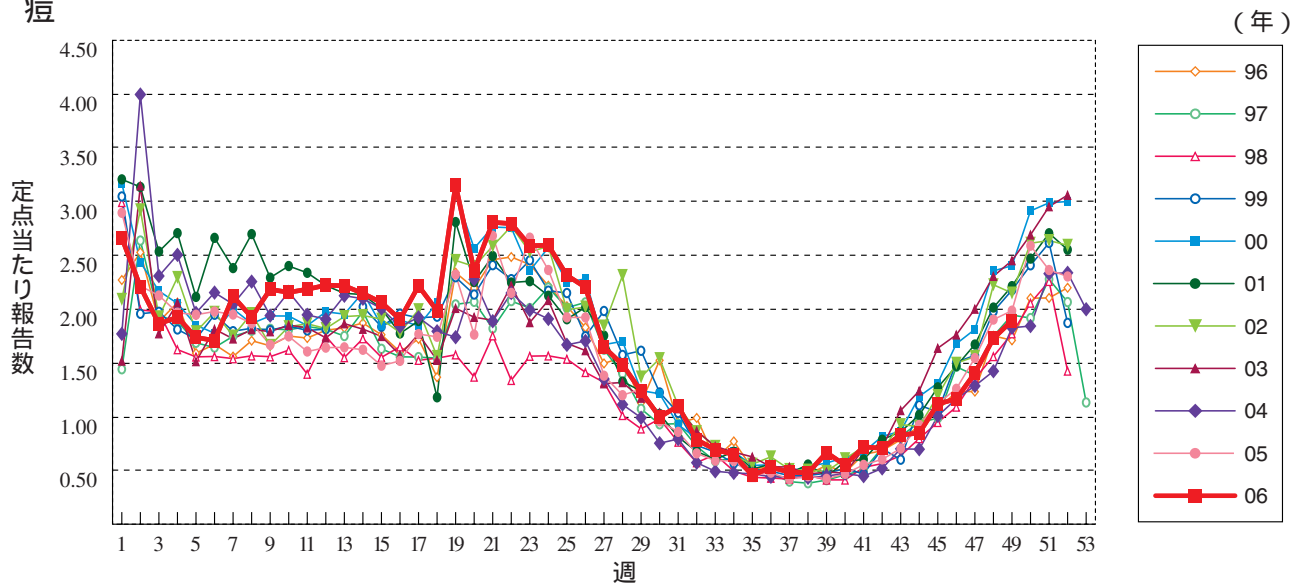
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



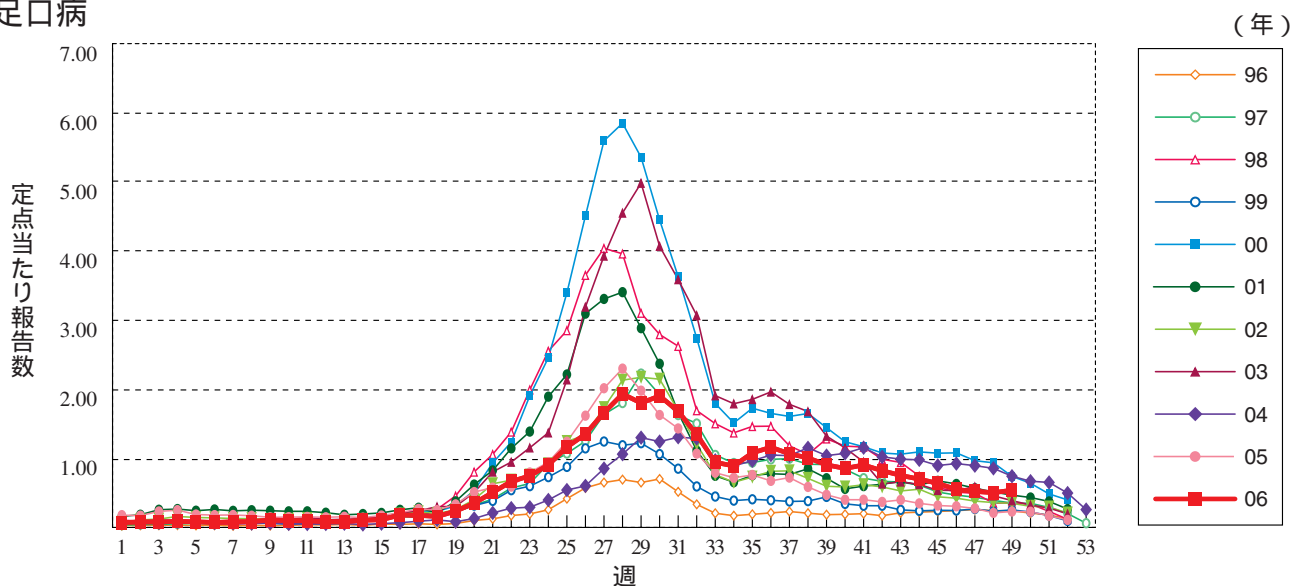
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



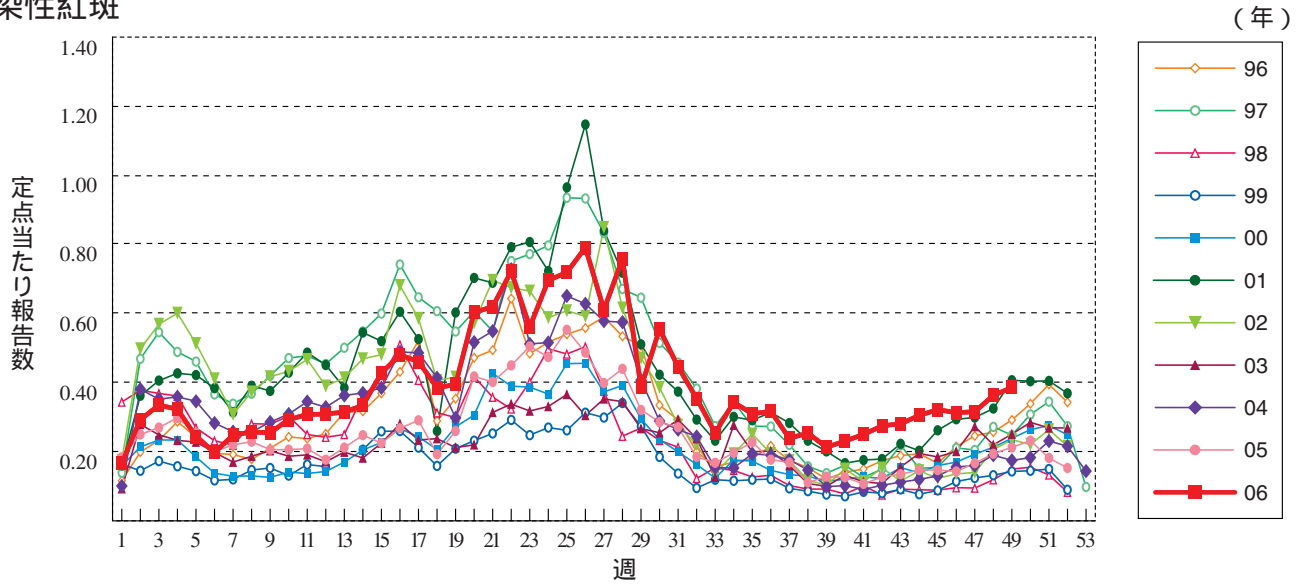
水痘



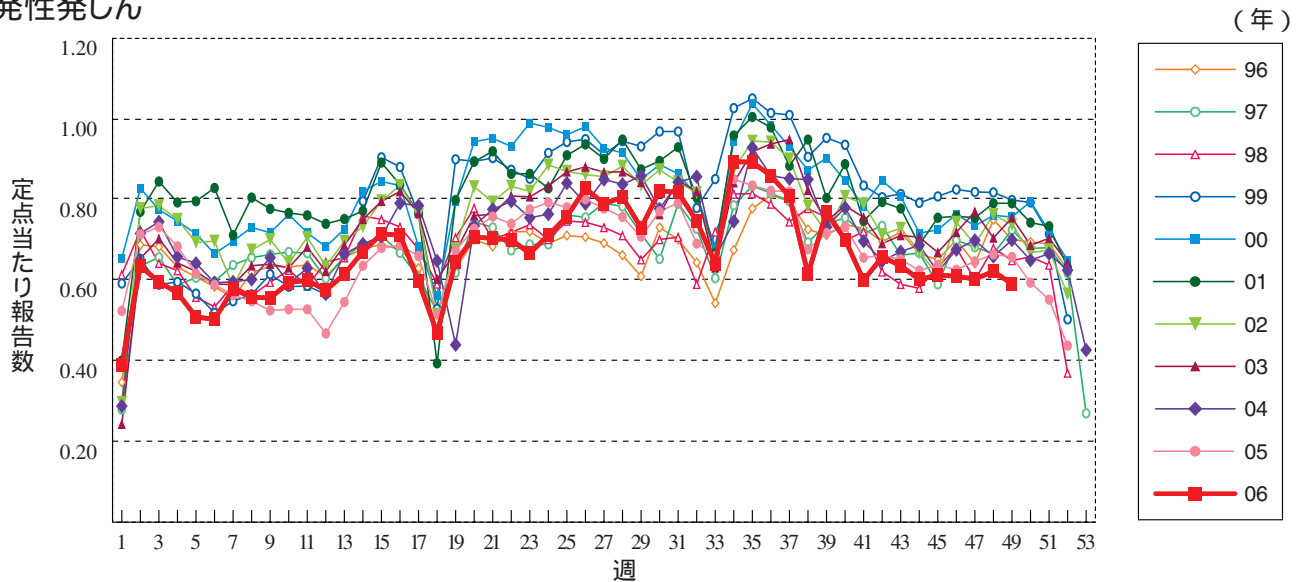
手足口病



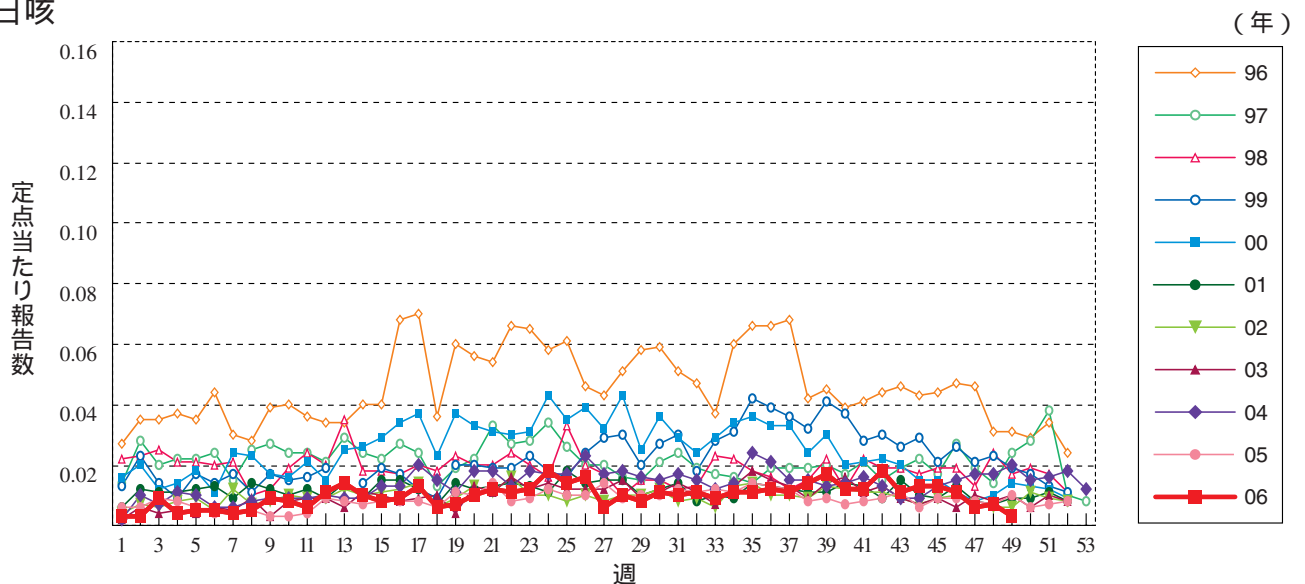
伝染性紅斑



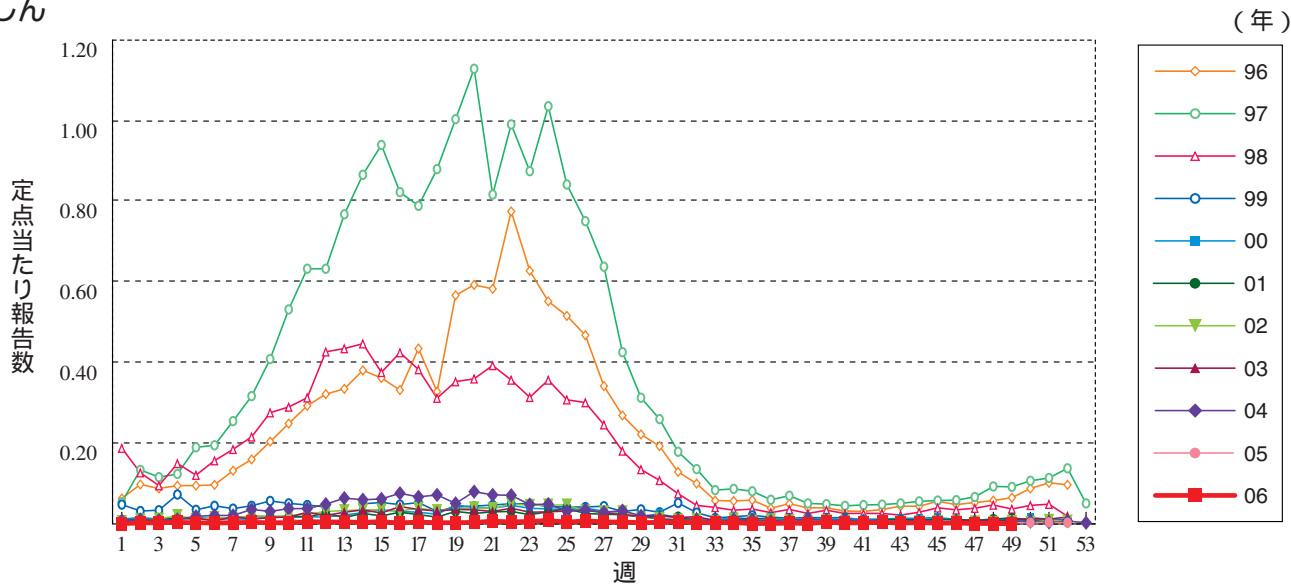
突発性発しん



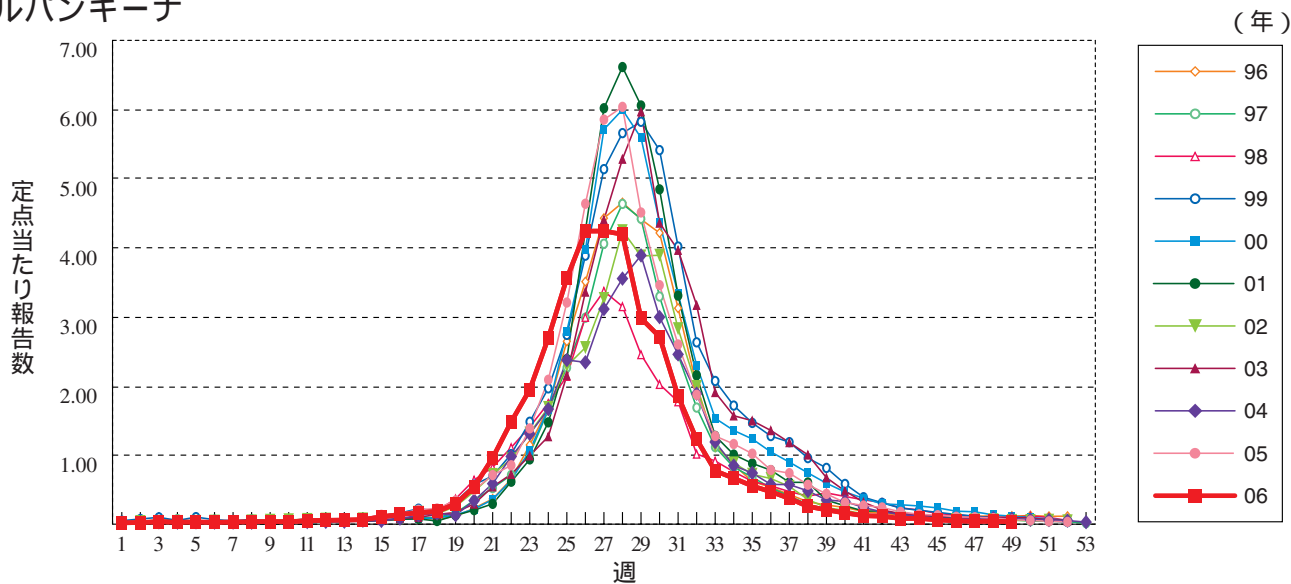
百日咳



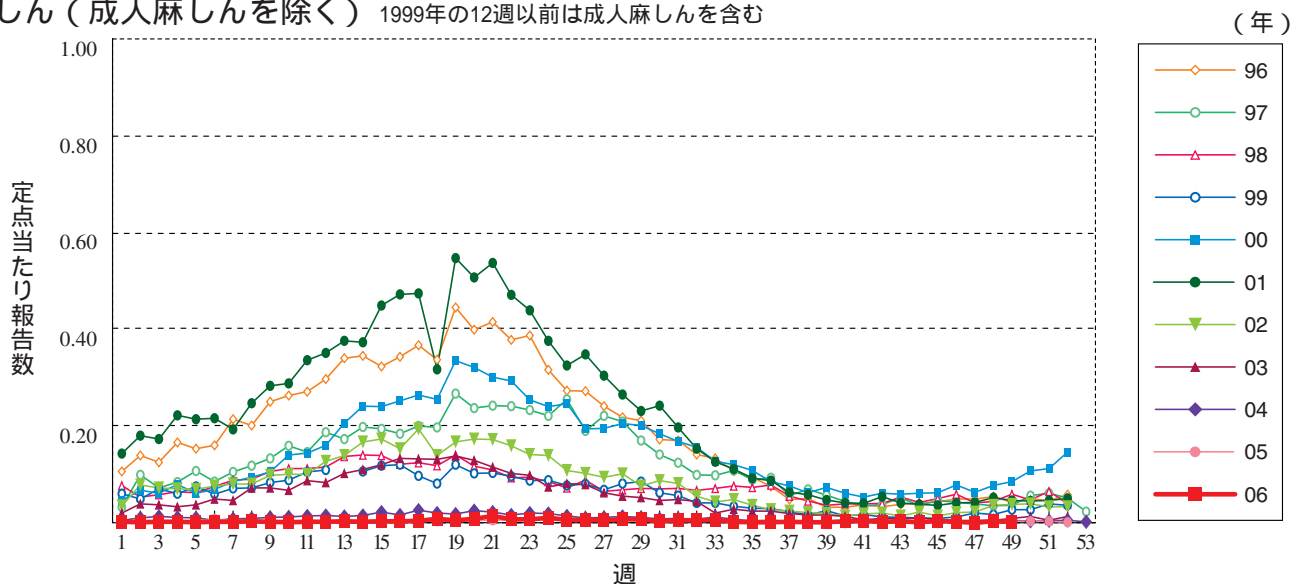
風しん



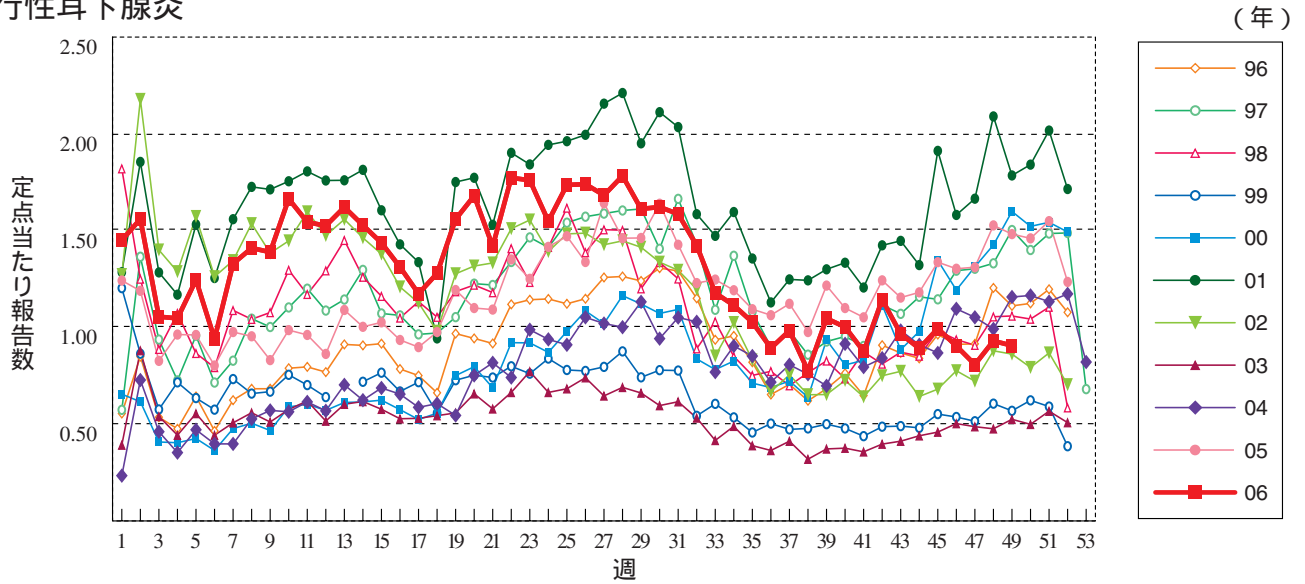
ヘルパンギーナ



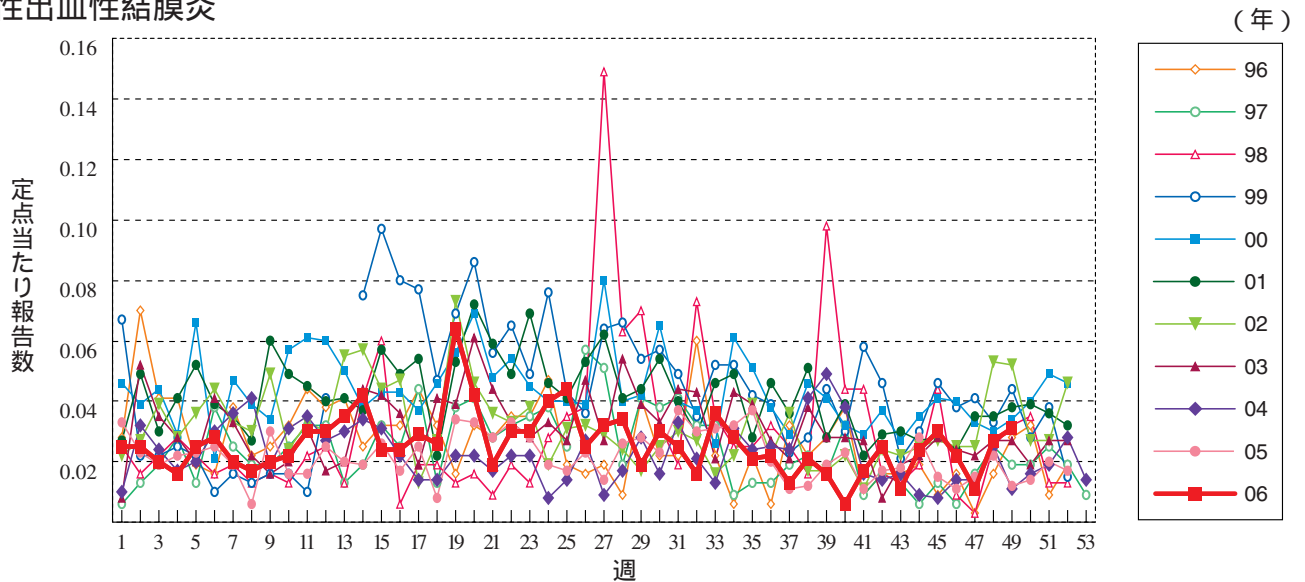
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



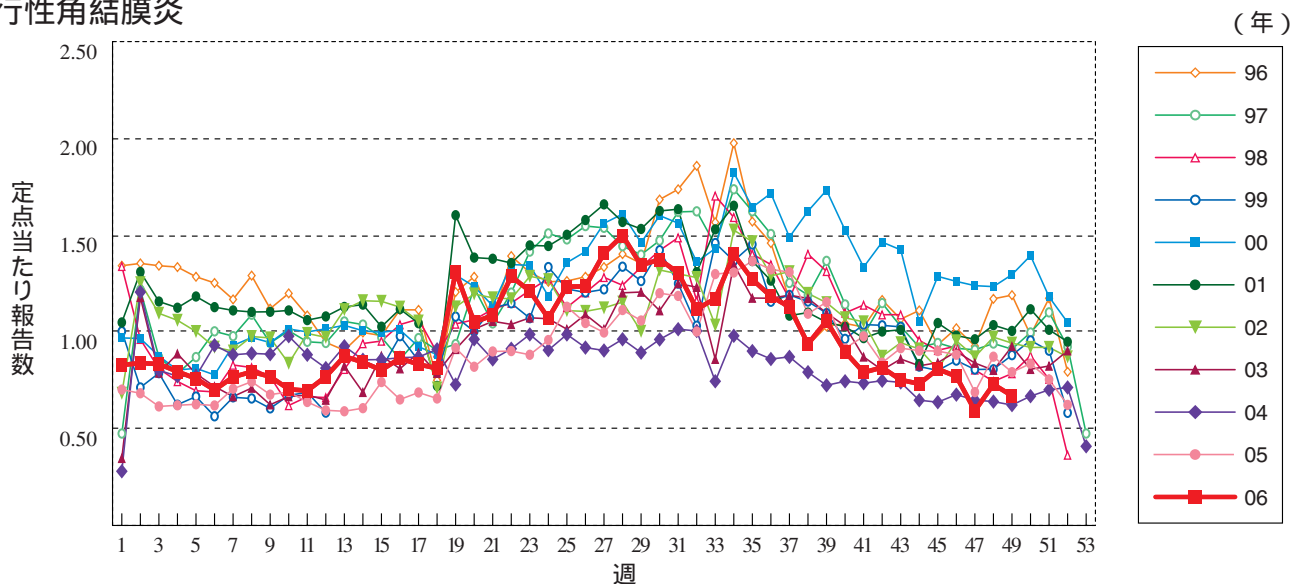
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

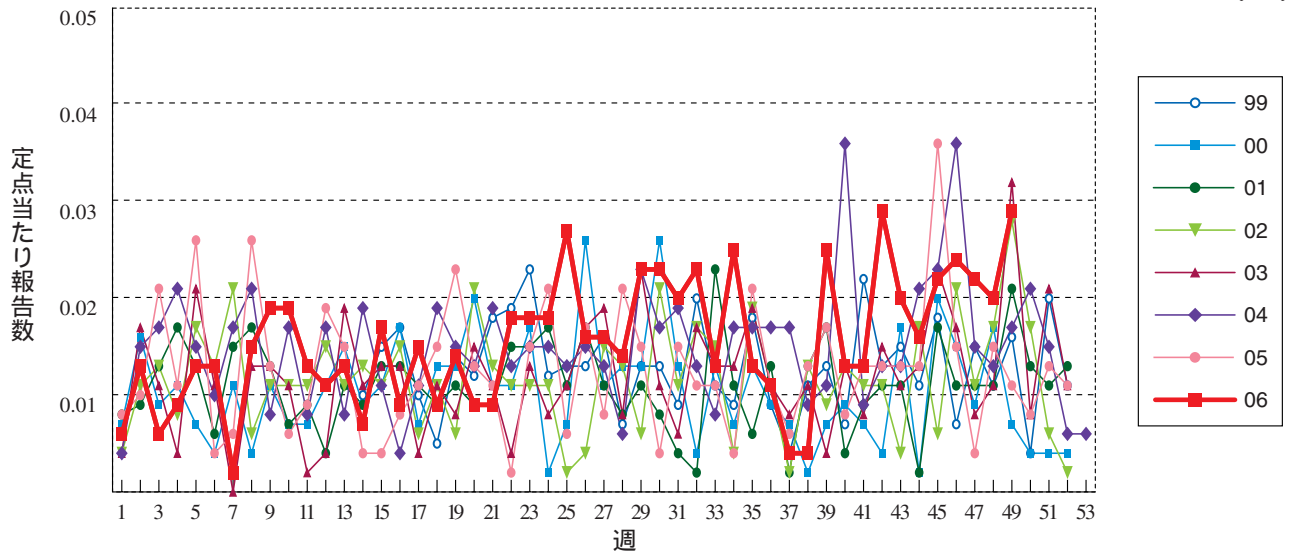


流行性角結膜炎



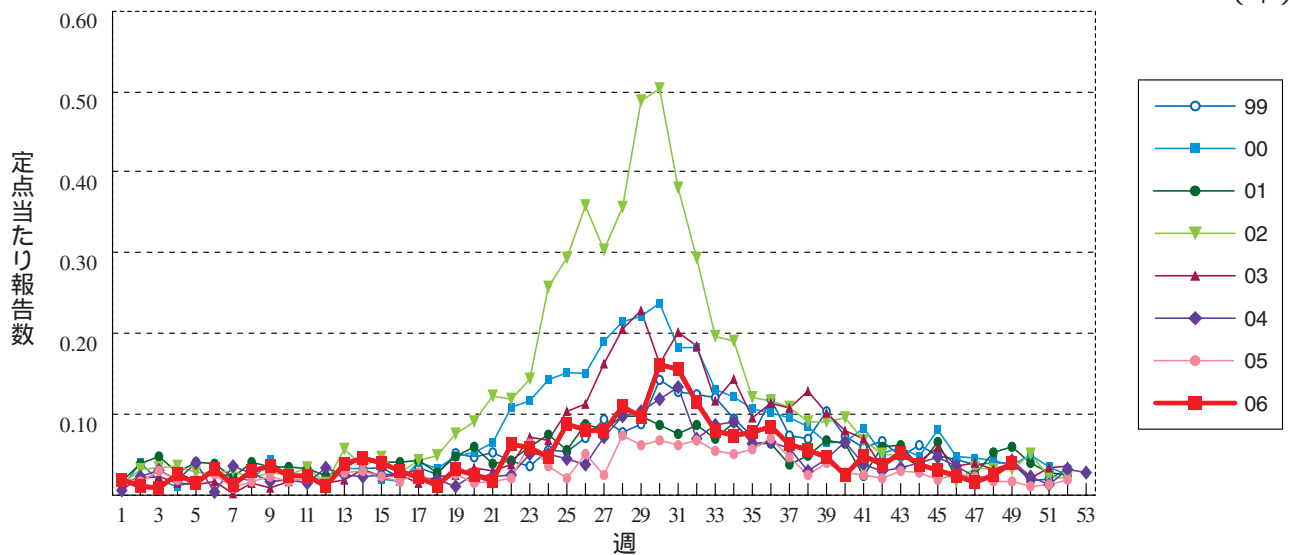
細菌性髄膜炎

(年)



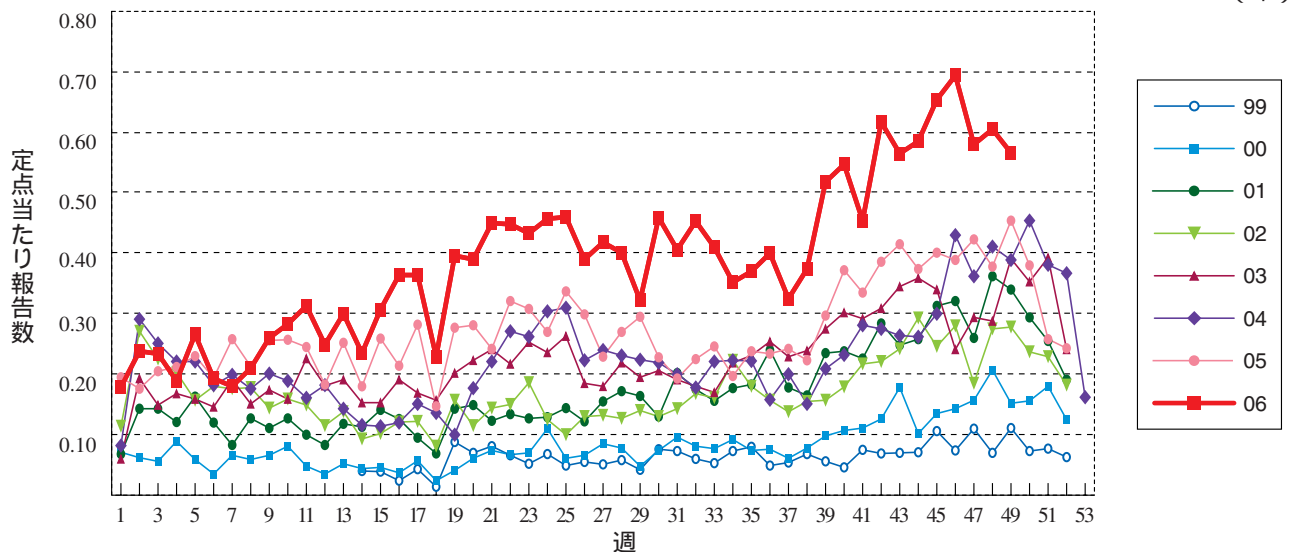
無菌性髄膜炎

(年)



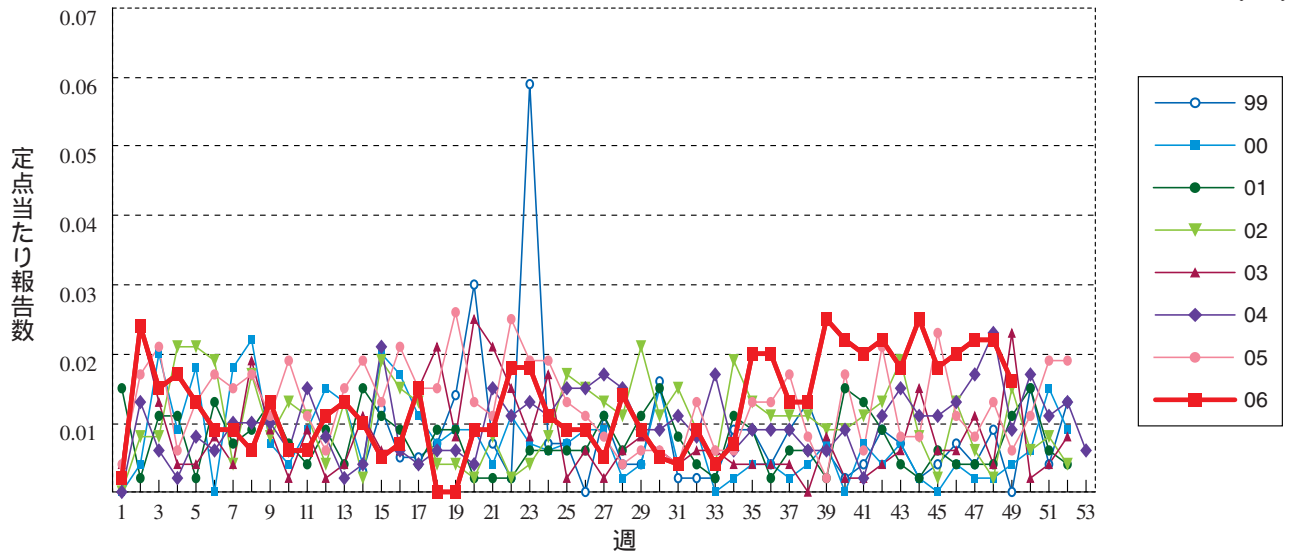
マイコプラズマ肺炎

(年)



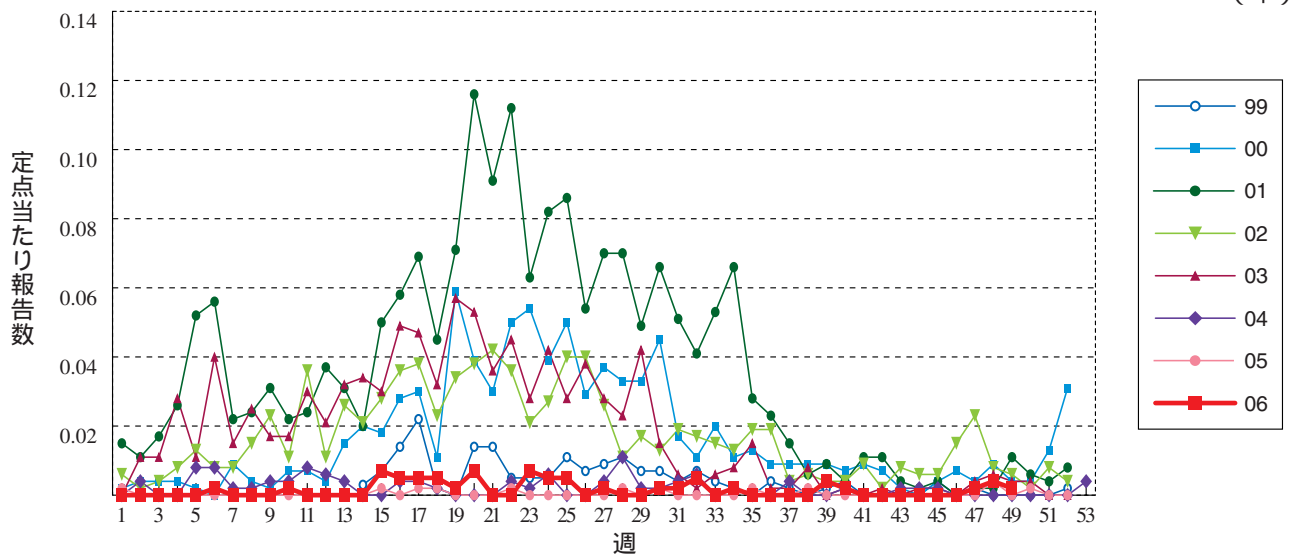
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



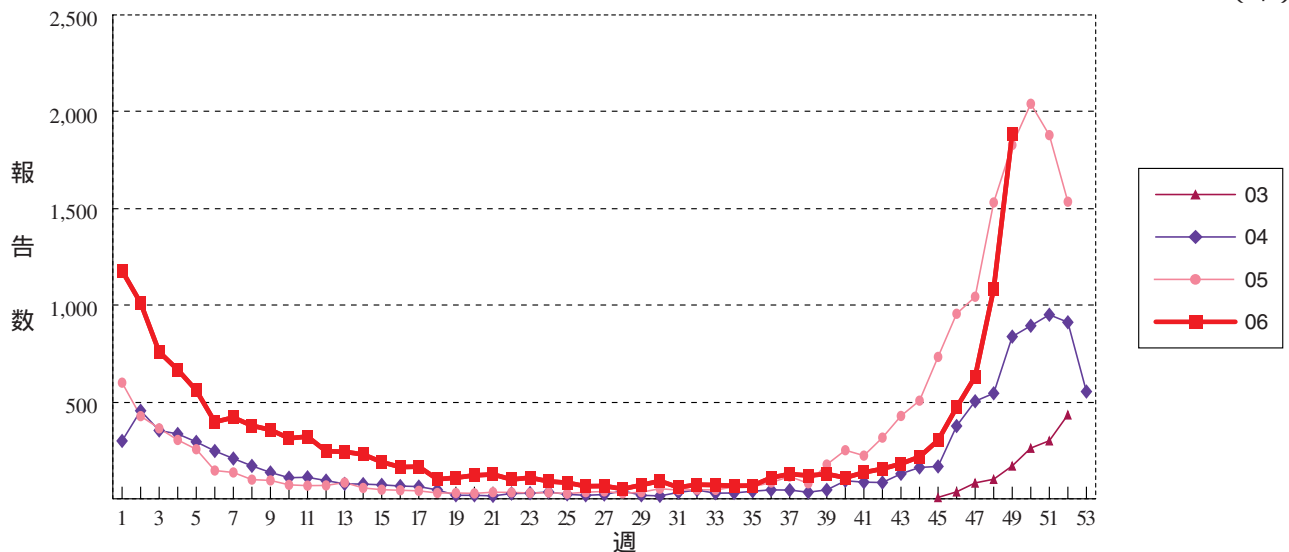
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





49週のデータ

注1)表中の報告数は12月13日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。
 注2)また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。
 *病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年49週

	エボラ出血熱		クリミア ・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器 症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	460	-	-	2	70	1	24	39	3762	-	63	-	-	-	307	-	20
北海道	-	2	-	-	-	3	-	-	1	80	-	19	-	-	-	13	-	19
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	50	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	78	-	-	-	-	-	3	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	1	-	-	2	34	-	1	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	17	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	126	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	12	-	-	-	5	-	1	-	89	-	-	-	-	-	11	-	-
千葉県	-	67	-	-	-	5	-	2	1	128	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	-	60	-	-	-	17	-	11	-	260	-	4	-	-	-	27	-	-
神奈川県	-	24	-	-	-	10	-	1	-	205	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	11	-	-	-	1	-	-	-	34	-	2	-	-	-	17	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	117	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	70	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	2	-	37	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	109	-	-	-	-	-	9	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	1	-	-	-	107	-	-	-	-	-	8	-	-
愛知県	-	29	-	-	1	6	-	3	1	200	-	5	-	-	-	19	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	4	-	-	-	-	-	-	2	54	-	2	-	-	-	21	-	-
京都府	-	4	-	-	-	1	-	-	-	77	-	3	-	-	-	9	-	-
大阪府	2	108	-	-	-	6	-	2	5	246	-	-	-	-	-	47	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	1	-	1	4	162	-	1	-	-	-	19	-	-
奈良県	-	3	-	-	1	1	1	1	1	29	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	129	-	1	-	-	-	15	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	13	115	-	1	-	-	-	10	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	41	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	6	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	1	29	-	-	-	2	-	-	1	209	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	61	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	1	-	-	3	86	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	33	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	132	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	69	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	22	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	20	329	-	53	-	-	-	44	-	7	-	-	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	2	23	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	13	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	5	-	2	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	5	17	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	58	-	-	-	12	-	-	7	479	-	23	8	693
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	20	-	-	-	24
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	14
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	9
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	19	-	-	-	25
千葉県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	1	36
東京都	-	-	-	-	-	13	-	-	-	2	-	-	1	53	-	4	2	170
神奈川県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	24	-	-	2	71
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	30	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	22	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	7
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	46
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	9
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	23
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	26	-	1	-	79
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	17	-	1	-	41
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	4
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	7
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	8	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	2

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	263	-	150	-	16	2	161	3	103	10	1222	-	82	-	14	-	-
北海道	-	4	-	8	-	3	-	7	-	7	-	26	-	1	-	-	-	-
青森県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	1	13	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
福島県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	-	30	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	5	-	-	-	2	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	4	-	4	-	12	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	8	-	-	-	5	-	3	-	33	-	2	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	18	-	1	-	6	1	9	-	46	-	2	-	-	-	-
東京都	-	34	-	6	-	5	-	19	-	13	5	406	-	27	-	1	-	-
神奈川県	-	14	-	4	-	1	1	10	-	6	1	69	-	10	-	3	-	-
新潟県	-	2	-	5	-	-	-	6	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	4	-	1	-	2	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	6	-	2	-	-	-	4	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
長野県	-	8	-	1	-	-	1	7	-	1	-	25	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	4	-	-	-	5	-	5	1	32	-	2	-	-	-	-
愛知県	-	9	-	10	-	-	-	8	1	9	1	93	-	2	-	1	-	-
三重県	-	13	-	3	-	-	-	3	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	6	-	8	-	1	-	-	-	-
京都府	-	14	-	-	-	-	-	7	-	2	-	30	-	2	-	1	-	-
大阪府	-	27	-	11	-	2	-	11	-	6	-	135	-	12	-	1	-	-
兵庫県	-	24	-	4	-	-	-	5	-	7	-	46	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	13	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	7	-	3	-	-	-	4	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	-	10	-	11	-	-	-	4	-	1	-	11	-	2	-	-	-	-
山口県	-	2	-	2	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	1	-	1	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
高知県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	12	-	9	-	-	-	7	-	-	-	34	-	4	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	10	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	1	11	-	1	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	10	584	2	111	-	-	1	73	-	-
北海道	-	8	-	6	-	-	1	3	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	1	17	-	1	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	8	1	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	8	-	6	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	16	-	7	-	-	-	3	-	-
東京都	1	121	-	7	-	-	-	17	-	-
神奈川県	-	19	-	5	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	6	-	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	5	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	1	13	-	2	-	-	-	6	-	-
愛知県	1	42	-	5	-	-	-	-	-	-
三重県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	1	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	35	-	4	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	22	-	3	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	5	-	-	-	2	-	-
広島県	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	2	28	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	31	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	9	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	38	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	7	-	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	19	-	8	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	657	0.15	1458	0.48	6469	2.14	66871	22.16	5713	1.89	1625	0.54	1164	0.39	1785	0.59	8	0.00
北海道	5	0.02	285	1.99	634	4.43	1406	9.83	414	2.90	98	0.69	83	0.58	71	0.50	1	0.01
青森県	1	0.02	15	0.36	86	2.05	585	13.93	77	1.83	15	0.36	4	0.10	11	0.26	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	41	1.05	582	14.92	88	2.26	28	0.72	43	1.10	14	0.36	-	-
宮城県	2	0.02	19	0.31	120	1.97	1761	28.87	197	3.23	22	0.36	49	0.80	51	0.84	-	-
秋田県	-	-	50	1.43	68	1.94	501	14.31	61	1.74	40	1.14	11	0.31	11	0.31	-	-
山形県	-	-	52	1.73	83	2.77	615	20.50	79	2.63	101	3.37	15	0.50	20	0.67	-	-
福島県	1	0.01	38	0.79	110	2.29	1179	24.56	77	1.60	51	1.06	15	0.31	35	0.73	-	-
茨城県	6	0.09	30	0.40	191	2.55	1486	19.81	104	1.39	40	0.53	26	0.35	30	0.40	-	-
栃木県	4	0.06	5	0.11	51	1.11	849	18.46	76	1.65	6	0.13	26	0.57	28	0.61	-	-
群馬県	4	0.04	20	0.32	119	1.92	1636	26.39	162	2.61	24	0.39	13	0.21	33	0.53	1	0.02
埼玉県	11	0.04	76	0.47	327	2.02	5090	31.42	314	1.94	89	0.55	131	0.81	131	0.81	-	-
千葉県	19	0.10	40	0.31	334	2.61	3628	28.34	184	1.44	59	0.46	49	0.38	79	0.62	-	-
東京都	3	0.02	34	0.24	187	1.32	3896	27.44	170	1.20	54	0.38	58	0.41	64	0.45	-	-
神奈川県	18	0.06	27	0.13	414	2.06	5669	28.20	304	1.51	95	0.47	67	0.33	138	0.69	1	0.00
新潟県	-	-	38	0.62	270	4.43	1372	22.49	95	1.56	29	0.48	9	0.15	34	0.56	1	0.02
富山県	4	0.08	44	1.52	94	3.24	902	31.10	31	1.07	16	0.55	26	0.90	17	0.59	-	-
石川県	-	-	32	1.10	82	2.83	810	27.93	40	1.38	8	0.28	15	0.52	18	0.62	-	-
福井県	13	0.41	6	0.27	42	1.91	911	41.41	91	4.14	1	0.05	11	0.50	17	0.77	-	-
山梨県	1	0.03	4	0.17	31	1.29	295	12.29	17	0.71	6	0.25	9	0.38	12	0.50	-	-
長野県	5	0.06	53	0.96	105	1.91	1396	25.38	131	2.38	48	0.87	37	0.67	36	0.65	-	-
岐阜県	56	0.72	15	0.28	55	1.04	685	12.92	130	2.45	6	0.11	24	0.45	11	0.21	-	-
静岡県	9	0.08	40	0.47	232	2.70	2054	23.88	143	1.66	18	0.21	28	0.33	58	0.67	-	-
愛知県	32	0.16	74	0.41	385	2.12	3384	18.59	322	1.77	62	0.34	113	0.62	96	0.53	-	-
三重県	2	0.03	50	1.11	114	2.53	1222	27.16	81	1.80	45	1.00	9	0.20	26	0.58	-	-
滋賀県	13	0.25	5	0.16	25	0.78	729	22.78	79	2.47	7	0.22	24	0.75	17	0.53	1	0.03
京都府	8	0.07	8	0.11	108	1.48	1393	19.08	125	1.71	20	0.27	27	0.37	34	0.47	-	-
大阪府	14	0.07	41	0.22	388	2.06	4286	22.80	297	1.58	118	0.63	39	0.21	103	0.55	-	-
兵庫県	10	0.05	15	0.12	178	1.42	3007	24.06	228	1.82	38	0.30	36	0.29	59	0.47	-	-
奈良県	-	-	22	0.63	25	0.71	675	19.29	62	1.77	11	0.31	8	0.23	11	0.31	1	0.03
和歌山県	2	0.04	5	0.16	19	0.61	723	23.32	72	2.32	34	1.10	7	0.23	9	0.29	-	-
鳥取県	1	0.03	8	0.42	70	3.68	545	28.68	36	1.89	8	0.42	-	-	10	0.53	-	-
島根県	-	-	17	0.74	59	2.57	353	15.35	70	3.04	33	1.43	3	0.13	9	0.39	-	-
岡山県	6	0.08	9	0.17	37	0.69	878	16.26	116	2.15	8	0.15	12	0.22	25	0.46	-	-
広島県	83	0.72	50	0.69	121	1.68	1276	17.72	111	1.54	2	0.03	5	0.07	40	0.56	-	-
山口県	1	0.01	9	0.18	161	3.29	1413	28.84	55	1.12	-	-	23	0.47	39	0.80	-	-
徳島県	-	-	5	0.25	34	1.70	421	21.05	34	1.70	6	0.30	4	0.20	18	0.90	-	-
香川県	-	-	17	0.53	30	0.94	599	18.72	81	2.53	3	0.09	13	0.41	13	0.41	-	-
愛媛県	-	-	5	0.14	78	2.11	1376	37.19	84	2.27	20	0.54	17	0.46	36	0.97	-	-
高知県	-	-	3	0.10	73	2.43	670	22.33	52	1.73	2	0.07	5	0.17	14	0.47	1	0.03
福岡県	19	0.10	25	0.21	297	2.48	2044	17.03	232	1.93	104	0.87	19	0.16	91	0.76	-	-
佐賀県	3	0.08	8	0.35	43	1.87	370	16.09	46	2.00	23	1.00	1	0.04	18	0.78	-	-
長崎県	2	0.03	57	1.30	82	1.86	873	19.84	42	0.95	15	0.34	10	0.23	27	0.61	-	-
熊本県	12	0.15	17	0.35	147	3.06	690	14.38	91	1.90	28	0.58	12	0.25	43	0.90	-	-
大分県	50	0.86	24	0.67	130	3.61	898	24.94	127	3.53	99	2.75	7	0.19	46	1.28	-	-
宮崎県	196	3.27	27	0.73	116	3.14	955	25.81	140	3.78	34	0.92	17	0.46	41	1.11	1	0.03
鹿児島県	4	0.04	32	0.57	56	1.00	627	11.20	109	1.95	46	0.82	2	0.04	23	0.41	-	-
沖縄県	37	0.64	-	-	17	0.50	156	4.59	36	1.06	5	0.15	2	0.06	18	0.53	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1	0.00	100	0.03	6	0.00	2735	0.91	20	0.03	427	0.67	13	0.03	18	0.04	252	0.57
北海道	-	-	2	0.01	-	-	161	1.13	2	0.07	23	0.79	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	101	2.40	-	-	15	1.36	-	-	-	-	5	0.83
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	78	2.00	-	-	12	1.00	-	-	-	-	16	0.80
宮城県	-	-	13	0.21	-	-	75	1.23	-	-	-	-	2	0.17	-	-	13	1.08
秋田県	-	-	-	-	-	-	24	0.69	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	24	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1.00
福島県	-	-	3	0.06	-	-	38	0.79	-	-	5	0.42	-	-	-	-	4	0.67
茨城県	-	-	1	0.01	2	0.03	31	0.41	-	-	23	1.53	-	-	-	-	5	0.71
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	61	1.33	-	-	17	1.42	2	0.29	3	0.43	10	1.43
群馬県	-	-	7	0.11	-	-	93	1.50	-	-	28	2.00	1	0.13	-	-	21	2.63
埼玉県	-	-	6	0.04	-	-	89	0.55	5	0.13	36	0.90	-	-	-	-	11	1.22
千葉県	-	-	2	0.02	-	-	54	0.42	-	-	18	0.58	-	-	-	-	6	0.75
東京都	-	-	8	0.06	-	-	59	0.42	-	-	13	0.93	-	-	1	0.04	3	0.13
神奈川県	-	-	6	0.03	1	0.00	92	0.46	4	0.10	34	0.83	-	-	-	-	3	0.43
新潟県	-	-	-	-	-	-	206	3.38	-	-	5	0.50	-	-	-	-	16	1.45
富山県	-	-	-	-	-	-	29	1.00	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7	1.40
石川県	-	-	-	-	-	-	8	0.28	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	-	-	-	-	15	0.68	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	3	0.13	1	0.04	21	0.88	-	-	5	0.56	-	-	-	-	6	0.60
長野県	-	-	3	0.05	-	-	132	2.40	2	0.18	2	0.18	1	0.09	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	14	0.26	-	-	1	0.10	1	0.20	-	-	4	0.80
静岡県	-	-	4	0.05	1	0.01	76	0.88	-	-	10	0.50	-	-	-	-	6	0.60
愛知県	-	-	2	0.01	1	0.01	111	0.61	-	-	14	0.41	2	0.17	-	-	5	0.42
三重県	-	-	-	-	-	-	82	1.82	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	21	0.66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	31	0.42	-	-	7	0.39	-	-	-	-	2	0.29
大阪府	-	-	2	0.01	-	-	157	0.84	2	0.04	13	0.28	-	-	-	-	20	1.67
兵庫県	1	0.01	3	0.02	-	-	195	1.56	-	-	22	0.63	-	-	2	0.18	1	0.09
奈良県	-	-	-	-	-	-	10	0.29	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	-	-	-	-	-	-	22	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	19	1.00	-	-	-	-	1	0.20	-	-	2	0.40
島根県	-	-	5	0.22	-	-	45	1.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	37	0.69	-	-	7	0.58	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	-	-	-	-	21	0.29	-	-	17	0.89	1	0.05	-	-	17	0.81
山口県	-	-	3	0.06	-	-	20	0.41	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	-	-	-	-	19	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	17	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	19	0.51	-	-	23	2.88	-	-	-	-	10	1.67
高知県	-	-	-	-	-	-	27	0.90	1	0.33	4	1.33	1	0.14	2	0.29	-	-
福岡県	-	-	5	0.04	-	-	119	0.99	-	-	18	0.69	-	-	-	-	4	0.27
佐賀県	-	-	-	-	-	-	8	0.35	-	-	-	-	-	-	2	0.33	3	0.50
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	8	0.18	3	0.38	6	0.75	-	-	-	-	3	0.25
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	17	0.35	-	-	12	1.33	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	69	1.92	-	-	7	1.40	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	61	1.65	1	0.25	4	1.00	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	3	0.05	-	-	97	1.73	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	22	0.65	-	-	8	0.80	1	0.14	3	0.43	22	3.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年49週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.02	1	0.00	1887
北海道	-	-	-	-	213
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	10
宮城県	3	0.25	-	-	30
秋田県	-	-	-	-	16
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.17	-	-	90
茨城県	-	-	-	-	10
栃木県	-	-	-	-	132
群馬県	-	-	-	-	24
埼玉県	-	-	1	0.11	84
千葉県	-	-	-	-	47
東京都	1	0.04	-	-	64
神奈川県	-	-	-	-	76
新潟県	1	0.09	-	-	10
富山県	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	5
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	9
岐阜県	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	33
愛知県	-	-	-	-	84
三重県	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	16
大阪府	-	-	-	-	167
兵庫県	-	-	-	-	48
奈良県	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	31
鳥取県	-	-	-	-	10
島根県	-	-	-	-	14
岡山県	-	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	64
山口県	-	-	-	-	91
徳島県	-	-	-	-	9
香川県	-	-	-	-	51
愛媛県	-	-	-	-	12
高知県	1	0.14	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	185
佐賀県	-	-	-	-	14
長崎県	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	55
大分県	-	-	-	-	15
宮崎県	-	-	-	-	98
鹿児島県	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	2

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年49週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	42	-	-	-	1	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年49週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第49号 2006年12月22日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。